

夢の実現に向かう「生きる力」を育みます

名張市立名張小学校令和7年9月12日

2学期が始まり、学校に子どもたちの姿が戻ってきました。保護者の皆様方には、いつも本校教育にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、4月に6年生を対象に実施しました全国学力・学習状況調査につきまして、本校の調査の結果および今後の取組についてお伝えします。

なお、「全国学力・学習状況調査」により測定できるのは学力の一部であり、学校の教育活動の一側面であることも考慮しながら、今後も子どもたちの学力向上に向けて授業改善に努めてまいります。

教科に関する調査の状況

本年度の学力調査は、国語、算数、理科の3教科について行われました。その結果、本校児童の平均正答率は、3教科ともに、全国平均よりわずかに低い数値となりました。しかしながら、児童質問調査における教科に対する質問では、「国語（算数・理科）の授業の内容はよくわかりますか（全国比 国語+30.2、算数+4.7、理科+22.6）」「国語（算数・理科）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（全国比 国語+28.0、算数+3.5、理科+21.8）」などの項目で全国平均を大きく上回りました。このことから、教科の学習をする意義を感じながら、内容を理解して取り組む児童が多いと考えられます。また、国語と算数については、5年生時2回目の「みえスタディ・チェック」の正答率を大きく改善しています。

無回答率は、国語の8割以上の問題で全国を下回っており、本校6年生が粘り強く問題に取り組んだ結果であると考えられます。算数、理科では約4割の問題で全国平均をやや上回っており、算数、理科の問題にも最後まで粘り強く問題に取り組める力をつけていくことが必要だと考えます。

今回の調査における各教科の強みと課題（顕著なもの）

（強み、弱みには、個人による差があります。以下の記述は、全体の傾向です）

<国語調査>

強み	・話し合いやインタビューの中で、発言の目的や意図を捉えることができる。 ・資料を読み取り、時間や事柄の順序を考えながら内容を捉えることができる。
弱み	・「好み」「暑い」など、漢字を文の中で正しく書くこと。 ・資料の中にある言葉や文を使い、与えられた文字数の範囲で、自分の考えをくわしく書くこと。

<算数調査>

強み	・日常生活の問題を解決するために、伴って変わる2つの数量を見だし、それらの関係について式や言葉を使って記述することができる。 ・「10%増量」など百分率が用いられている場面において、「1.1倍」などと、倍を使って捉え直し表現することができる。
弱み	・目的に応じて適切なグラフを選択し、グラフから読み取ったことを言葉や数を用いて記述すること。 ・台形の意味や性質の理解。 ・分母の違う分数の計算について、数や言葉を使って説明すること。

<理科調査>

強み	・水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることについて、実験結果を基に結論を導いた理由を表現することができる。 ・「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位が上昇した理由を予想し表現することができる。
弱み	・顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能を身につけること。 ・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引きつけられる物の知識。

児童質問調査の傾向から

○良い傾向だと思われること（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）

質問	本校	全国	全国との比較
将来の夢や目標を持っていますか	89.2%	83.1%	+6.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.2%	97.2%	+1.0
平日の学校の授業時間以外に、普段 1 日あたりどのくらいの時間勉強をしますか【1 時間以上】	60.8%	54.0%	+6.8
5 年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	87.5%	80.3%	+7.2
地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでももらったりすることがありますか（習い事は除く）	85.7%	80.6%	+5.1

○課題があると思われること

質問	本校	全国	全国との比較
自分にはよいところがあると思いますか	85.7%	86.9%	-1.2
人が困っているときは、進んで助けていますか	89.3%	93.7%	-4.4
P C ・タブレットなどの I C T 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか	64.3%	76.7%	-12.4

今後の取組について

学びを日常の経験や体験と結びつけて考える問題や質問に良い傾向が見られたことは、「名小版なばり学」の学習や、課題解決に取り組む学習活動の成果と考え、引き続き取り組みます。

国語、算数、理科においては、上記の「強み」を伸ばし「弱み」を克服することができるように、学習方法や方策を工夫していくとともに、その他の教科の授業においても、授業の中で、考えていることを説明する活動を増やす等、児童の力が向上するように授業改善に取り組みます。

また、学習規律が確立した落ち着いた環境で学ぶことが、学力向上の基盤と考え、小中一貫教育の名張中学校ブロックで取り組んでいる「学びの心得」（チャイムの合図前に席に着く、人の話をよく聞き、発表するときはていねいに話すなど）についても、学校全体で連携し、安心して学べる学級の中で、子どもたち一人一人が自分に合った学び方を身につけられるように、意識づけから行動へ移せるように繰り返し指導していきます。

さらに、読書や家庭学習を自分で計画を立てて進めていけるように指導していきます。

ご家庭におかれましても、お子様が自信をもち、自分を好きになるように、結果だけではなく、学習に取り組む姿勢や学習の過程についても、励ましや認めるお声がけをお願いします。今後もご家庭と連携して取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願いします。

